

# わかやま 市議会 だより

No.111 令和5年(2023年)11月1日発行

- ・特集 日常の一瞬を言葉に  
五・七・五で切り取る風景 ..... P2
- ・9月定例会の概要 ..... P4
- ・採決状況 ..... P5
- ・一般質問 ..... P6
- ・委員会審査の概要 ..... P10
- ・市議会からのお知らせ ..... P12

## 第24回NHK全国俳句大会 「龍太賞」受賞作

※昭和57年から開催されてきた全国俳句大会を前身とする「NHK全国俳句大会」。その中の「龍太賞」は戦後を代表する俳人・飯田龍太の名前を冠した賞で、15句合わせて1作品とする難度の高い部門。



原爆忌ばつんと社家の日向水

### 今年米ふはりと握る三角形

お題【大鳥居】

雑賀絹代

# 俳句の世界

小鳥来る木の神様の大鳥居  
気軽に楽しむ

おもむろに男のひらく秋日傘

月明にぬれて揺るがぬ一位檜

沈金の色なり神の錦鯉

熟柿かな  
吸ひて全き  
落日を

ひぐらしの切通し  
こども参道

神鶏の声  
よつすぐに  
梧桐へ

稿迷は  
あから  
構への  
蟬

檜皮育  
しとどに  
秋の  
微雨かな

良夜かな  
嬰に喃語と  
いへるもの

曼珠沙華  
蕊ほんぱうに奔放に



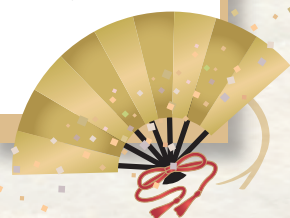


特集vol.23

# 日常の一瞬を言葉に 五・七・五で切り取る風景



俳句結社「郭公 和歌山句会」の皆さん。第1第2土曜が句会、第4日曜が吟行と、精力的に活動されています。



五・七・五のわずか17音で情景や感情を描く俳句。世界最短の定型詩と言われ、日本のみならず、世界にもその人気が広がっています。今回は、文化の秋にふさわしい俳句の魅力について、俳句歴23年の雑賀絹代さんにお話を伺いました。

## 自然への愛など

### しみじみ表現

今年3月に開催された第24回NHK全国俳句大会で「龍太賞」を受賞された雑賀さん。龍太賞は、戦後を代表する俳人・飯田龍太の名前を冠した賞で、15句を1作品とする難易度の高い部門です。全国から500近い応募があった中、伊太祁曾神社を詠んだ作品「大鳥居」で、見事、龍太賞に輝きました。

受賞の速達に「驚くしかありませんでした」とあくまで

も謙虚ですが、「日常に即しながら、自然を愛する気持ちや人間同士のつながりをしっかりと受け止められていることが、しみじみと控え目ながら感じられる」と評されており、このように作者の人柄がにじみ出るのが俳句の良さなのかもしれません。

雑賀さんが見て感じて紡いだ作品は、選考委員満場致での龍太賞決定となりました。







**散策**

俳句のネタを拾いに外を散策。風、匂い、季節の移り変わりを五感で感じることでインスピレーションを呼び起こします。



**知識を深める**

資料館にて、はにわや土器を見学しました。知的好奇心が刺激される大切な時間です。



**句会**

散策時のメモをもとに推こうを重ね、俳句を仕上げます。数句作る必要があるため、皆さん時間との闘いです。



**選句**

句を出し合い、本日の良い俳句を選んでいくワクワクドキドキの時間です。皆さん、いい句はできましたか？

**編集後記**



議場で1句お願いすると、右のような素敵な句を詠んでくださいました。5・7・5から作者の想いと自分の経験を照らし合わせ、場面を想像する——日本人ならではの共感が試されるのが俳句です。和歌山には有吉佐和子をはじめ、文化的に活躍されている方が何人も生まれています。和歌山市にあるいろいろな文化を高めるサークルを、市議会も応援します。

特集担当：中谷 謙二、新古 祐子

**黒革の議場の椅子も秋深し**

「本会議場」で一句詠んでいただきました

**楽しみ方いろいろ「吟行」紀伊風土記の丘編**

俳句との出会いは23年前。子育てが一段落し、何か楽しめる趣味を探していたときに、初心者向けの俳句教室を訪れたのがきっかけでした。最初は、気後れすることもありましたが、現在では、月に2回カルチャーセンターで講座を持ち、「郭公 和歌山句会」の活動で忙しくされており、俳句の世界にとっぴりの毎日です。

「あれもこれでもではなく、あれかこれか」（飯田龍太の言葉）。いかに言葉をそぎ落とし、なおかつ思いが伝わるようにというのが俳句の難しさであり、奥深い魅力だと話します。

きれいに詠もうとするとありふれた句になってしまうため、自分の感じたことをそのまま正直に詠むのが俳句を楽しむ秘けつのような気がします。同じ情景であっても、詠む人それぞれの言葉で自分を表現できるのも魅力だと感じました。

感じたことをそのまま正直に

そのまますま正直に

和歌山の良さ、新たに発見

新たに発見

俳句を始めてから、改めて和歌山の良さ、素晴らしさを再発見しているとのことで、和歌山城の動物園など、身近な場所でも、俳句の材料はたくさんあると言います。

「山も海も川もあり、お城もある。地元の人にこそ和歌山の良さを知ってもらい、発信してもらいたい」。たった17音に思いを込め、

伝えたい感情や情景を真摯に見つめ、その瞬間を言葉で切り取る句作を日々繰り返し返しているからこそ見える世界や、新しい価値の発見があるのだと感じました。

自分の住むまちを知り、その価値を理解し、その価値を市民自らが発信していくことが、これからの地方都市の魅力向上につながります。そのためにも、私たち議員一人一人が、和歌山市の新たな価値提案に向け、建設的に議論し、取り組んでいきたいと思えます。

**雑賀絹代さんプロフィール**

平成14年 俳句結社「白露」入会、平成25年 俳句結社「郭公」入会  
平成31年 俳句結社「郭公」同人、令和3年 句集「うろこ雲」を出版

# 9月定例会の概要

開会

9月11日

- ・会期の決定(9月11日～9月29日)
- ・議案説明(報告関係4件、議案16件(補正予算案4件、条例案2件、その他10件))

一般質問等

9月13日

- ・新古祐子議員、清末博善議員、坂口多美子議員

9月14日

- ・山本大地議員、西風章世議員

9月15日

- ・追加議案の説明(補正予算案1件、条例案1件、その他3件)
- ・志賀弘明議員、南畑幸代議員、菺 浩昭議員

9月19日

- ・吉本昌純議員、井上直樹議員  
(P6～P9に概要掲載)
- ・議案の委員会付託

常任委員会

9月20日～9月25日

- ・総務委員会、厚生委員会、経済文教委員会、建設企業委員会で議案について審査

9月26日

- ・各常任委員会で議案について、討論及び採決  
(P10～P11に概要掲載)

特別委員会

9月27日

- ・地震等災害対策特別委員会

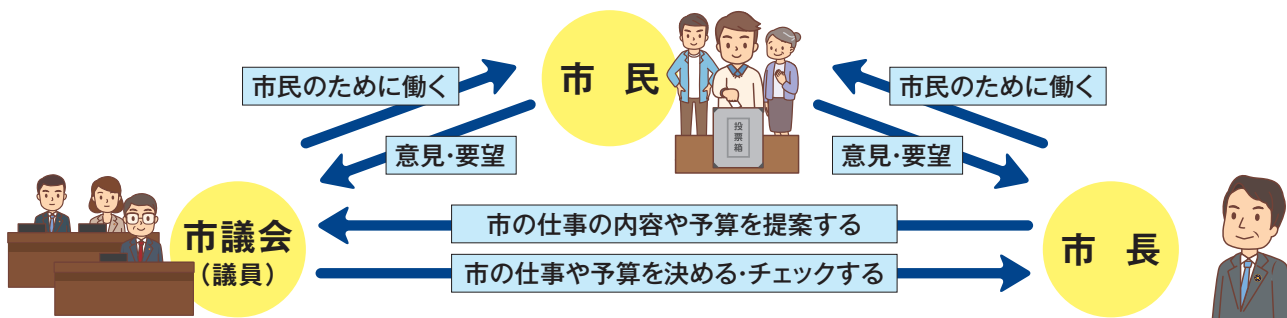
閉会

9月29日

- ・各常任委員会の委員長報告
- ・反対討論(南畑議員)、採決
- ・追加議案の説明(人事案件2件)、採決
- ・追加議案の説明(決算関係18件)
- ・決算特別委員会の設置、委員の選任  
※決算関係の議案は、閉会中の継続審査
- ・議員発議(決議案1件、意見書案2件)
- ・うち1件反対討論(森下議員)、採決

令和5年度予算(9月補正後)	
一般会計	1,548億9,938万7千円 (補正額14億6,749万8千円)
特別会計及び公営企業会計	1,394億6,703万6千円 (補正額3億220万3千円)
合計	2,943億6,642万3千円
補正予算の概要	
<p>一般会計では、結婚新生活支援事業、高齢者保健事業、防災ラジオ貸与事業、観光誘客対策事業(日本遺産を活用したコンテンツ造成事業、TGC和歌山開催負担金)、コンベンション推進事業、人材育成事業(産官学連携プロジェクト研究)、日本遺産活用環境整備事業(休憩施設整備、周遊ルート施設整備)などに要する経費が計上されました。</p> <p>特別会計では、卸売市場事業特別会計で、中学校給食センターの整備に向けた中央卸売市場施設整備事業に要する経費などが計上されました。</p> <p>これらの補正予算案は慎重審査の結果、可決されました。</p>	

## 議会の仕組み(市民・市議会・市長の関係)







ピックアップ

# PickUp! 一般質問

一般質問の概要では、多数ある質問項目の中から、特に市民の皆様へお届けする内容をピックアップした上で掲載しています。



録画中継をご覧いただけます。

※各会派のスペースは、会派の所属議員数によりその大きさが異なります。

## 創和クラブ



やまもと だいち  
山本 大地

### 民間活力の導入

**問** 地方自治法改正による地方分権の動きを受け、各自治体は財源の確保や歳出削減に力を入れる必要があり、本市も例外ではない。歳出を抑え、市民サービスの質を維持、向上させていくには民間のノウハウ、ア

アイデアは必要不可欠である  
と考える。

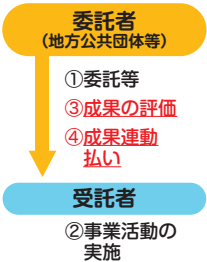
他都市では、従来の指定管理制度を利用した施設の管理運営業務のみならず、がん検診の分野まで民間活力を活用している自治体もあり、受診率向上など成果を上げている。

そこで、本市の健康増進と将来的な医療費の削減による財政負担の軽減に向け、がん検診受診率向上の有効な手法の一つとして、成果連動型民間委託契約方式であるPFSの導入を検討してはどうか。また、がん検診のみにとどまらず、全庁的に取り組まれてはどうか。

### 従来型の委託事業



### PFS事業



**答** PFSは民間事業者の事業意欲をより一層向上させ、そのノウハウ等を最大限

に引き出すことが可能となるため、より効率的、効果的に行政課題の解決が図られるといった点で有用な手法であると認識している。

PFSの有用性を踏まえ、がん検診をはじめ先行事例を参考に、各分野において制度の導入に向けた研究を進めていく。

### ネーミングライツの導入

**問** ネーミングライツとは、公共施設の名前を付与する命名権と付帯する諸権利のことで、施設などの名前に企業名等をつけることで、公共施設の命名権を企業が買回ビジネスである。

契約金額の大小は大きな要素であるが、大企業のみならず中小企業でも参加できるものなど、その種類は多様化しており、公衆トイレ等に導入し、清掃などの条件を付帯した契約を結び自治体の管理コストの削減につながっている例もある。希望する企業あつての事業のため、契約料や場所、期間など多くのバリエーションを用意し、選びやすい選択肢を作ることや、どのよ

うな施設や場所であればやってみたいかヒアリングするなど幅広い視点で取り組んではどうかと考える。

今後、本市において多角的にネーミングライツを実現していくべきであると思うが市長の考えはどうか。



広瀬歩道橋、新南歩道橋、鳴神横断歩道橋でネーミングライツ事業を実施

**答** 財源確保の面から有益であり、命名権に付帯する契約内容を工夫することで、施設管理運営の効率化につながる事例があると認識している。本市及び企業双方にとってメリットがある形で活用が進み、財源確保・コスト削減といった経済的な点のもとより、対象施設の魅力向上、更には地域活性化につながっていくことができるよう、引き続き積極的に取り組んでいく。



いのうえ なおき  
井上 直樹

### 和歌浦御手洗池公園前道路整備

**問** 平成30年度和歌の浦地区都市再生整備計画「絶景の宝庫・和歌の浦」の歴史・景観を地域の誇りと活力に上げるまちづくり」と題して、御手洗池公園前道路整備の一部が完了した。

しかし、工事を進めていくまでに、地元説明会は3年間で2回しか開催されておらず、地元からは多数の問題点が出された。その中でも、東照宮前の信号機の位置の移動と信号制御機を反対側に移動してほしいという声や御手洗池周辺の自転車道について、カーブにも関わらず、縁石が設置されたため、視認性が悪く、設置工事の時点でも、車の接触事故も起こっており、縁石を撤去してほしいとの声があつたが、聞き入れてもらえていない状況である。このような地元からの要



望を取り入れられない道路整備をどう思うか。

**答** 地元からの要望も取り入れられない道路整備は望ましくないと考える。道路整備は、「道路法」、「道路構造令」の法令や各種基準等に準拠し、道路利用者が、安全で快適に利用できることが重要であるため、全ての要望を取り入れることは困難であるが、対応できない要望については、その理由を丁寧に説明する必要があると考える。



紀州東照宮前の信号機と信号制御機

**問** 自転車道の設置により和歌祭のコースを変更せざるを得ない、若しくは、祭り自体ができない状況になつてしまい、整備計画の中の「歴史文化の認識、ふるさと意識を高め、伝統文化

の維持継承を図る」という目標とかけ離れた状況である。

和歌祭を当該道路で実施できるよう考えるがどうか。

また、御手洗池周辺は、正月三日は、駐車禁止区域を期間的に外され、東照宮、天満宮、玉津島神社などに参詣するための駐車場所である。自転車道を作るにあたり、何の説明もなく工事が進められ、今年の正月は参拝者で大渋滞している状況であった。

これらを踏まえ、三が日を快適に参拝してもらえよう対応するとともに、東照宮前の信号制御機を移動すべきと考えるがどうか。

さらに、三が日を踏まえ、自転車道を早急に撤去すべきと考えるがどうか。

**答** 和歌祭を当該道路で実施できるよう、関係者とともに警察はじめ、関係機関と調整しているところである。

また、東照宮前の信号制御機については、コンパクト化や移動の可能性を県警本部と協議し、進めていく。

さらに、三が日については、渋滞や困っている参拝者の方々の状況を確認して

おり、何らかの対応が必要であると認識しているため、利用状況や安全性を確認し、改善に努めていく。



和歌浦御手洗池周辺の自転車道

公明党議員団



にしかせ あきよ  
西風 章世

家庭教育支援

**問** 学校・家庭・地域が一体となるための活動にこそ、家庭教育支援サポーターも入り、学校と連携・支援すること、家庭教育支援へとつながるきっかけになると考える。生まれてから、義務教育終了までトータルで

家庭教育支援を考える必要があり、市長部局と教育委員会がしっかりと連携していかなければならない。

家庭教育支援の管理・運営を行う家庭教育支援室又は家庭教育支援課があつてもよいと思うがどうか。

**答** 次代の社会を担う子供一人一人の育ちを社会全体で応援し、総合的な子供・子育て支援推進のため、組織体制も含め、全市一丸となつて取り組んでいく。



**問** 安心して出産・子育てができる環境を整備し、不安を抱えて頑張っているときに声掛けをしていけるブツシユ型の体制が大事である。SNSアプリを活用したオンラインの面談相談などを取り入れ、伴走型相談支

援の充実を図る必要があると考えるがどうか。

**答** 来所が困難な場合や電話では十分にコミュニケーションをとることが難しい場合には、有効な方法になると考えるので、支援の方策について検討していく。

終活支援

**問** 市民の安心した暮らしのために、亡くなった後も、本人の尊厳が守られる終活支援事業を始めてはどうか。

**答** 市の役割の範囲を精査し、関係部局において調査、研究していきたいと考える。



やぶ ひろあき  
藪 浩昭

一人暮らしの高齢者施策

**問** 民生委員など、地域や事業者の協力を得て人的な見守りが進められ、緊急時にペンダントのボタンを押すことで作動する緊急通報システムが導入されている。さらに、安否確認サービスの提供事業者も増え、人感センサーや、ポットの作

動等、日常生活の異常を感じ、離れて暮らす家族のスマートフォンに通知するサービスが提供されている。見守りサービスである緊急通報システム拡充とともに、幅広く安否確認サービスを支援していく必要があると考えるがどうか。



**答** 幅広く安否確認が効果的に行える機器について他都市の事例も含め、早急に検討していく。

**公共交通施策**

**問** バス路線の廃止による交通不便地域の解消のため、新たな対策が必要と考える。AI（人工知能）技術を用いた自由な発着地の組合せや効率的な配車など、地域の特性に応じた柔軟な運営

運行を行うことができるAIオンデマンド交通や、新駅設置についてどのように考えているか。

**答** AIオンデマンド交通は柔軟な運行が可能なために、高齢者等が利用しやすくなるなどの利点があるが、導入については、十分慎重な検討が必要と考える。

また、新駅設置には、地域住民のニーズの確認と合わせ十分な検証が必要なため、関係機関と連携しながら検討していきたいと考える。

**民主クラブ**



きよすえ ひろよし  
清末 博善

**水道管の更新計画**

**問** 本市の上水道の水道管更新について、令和4年度の経年化率は18.53%の見込みで、平成30年度より、年々悪化し続けており、問題であると認識している。一方で、水道管の法定耐用年数の40年を経過すれ

ば、直ちに漏水等の問題が生じるのではなく、60年程度使用できていけるものもあり、近年敷設する水道管の材質ではそれ以上耐用できるとも言われている。法定耐用年数を基にした経年化率は、水道管の現状を正確に反映できていない指標であると言え、水道管の経年化・老朽化の状況を正確に把握することができない。

上水道の水道管の更新計画を立てる際は、基本経年化率を基に現状の漏水状況等を踏まえて計画していると思うが、経年化率の考え方を含め、今後どのように更新計画を立てていくのか。



水道管の更新工事

**答** 今後は、法定耐用年数に捉われず、「使用実績や」実使用年数に基づく更新基準

の設定例」、また、他の水道事業体の更新基準なども参考に、管種ごとに更新基準年数を設定し、更新計画の策定に取り組んでいく。

**問** 工業用水道の水道管について、令和4年度の経年化率が72.58%の見込みで、上水道より更に悪い状況である。工業用水道の水道管についても今後どのように更新計画を立てていくのか。

**答** 今後の水需要から、適切な管口径の検討が必要となるため、将来需要を把握し、上水道と同様、更新計画の策定に取り組んでいく。

**問** 水道事業経営戦略にある、水道管の更新率0.5%は、低すぎる目標値である。将来にわたり、安全安心な水を供給し続けるためには、実使用年数を経過するまでに更新していく必要がある、更新率の目標も上げるべきだと思いがどうか。

**答** 水道管路の更新については、ペースアップを図る必要があると認識しており、各施設の重要度や優先度を考慮し、財政面も踏まえ総合的に判断していきたくと考えている。

**和歌山興志クラブ**



よしもと まさずみ  
吉本 昌純

**農業振興**

**問** 我が国の食料自給率は、カロリーベースで換算すると38%であり、改善されることなく、輸入に依存している。諸外国の治安の悪化等により、小麦や大豆などが高騰し、生活に影響を及ぼしている今日、国内で農産物等を増産し、食料自給率を上げていく必要がある。今まで生産者等と一体となつて農業振興に取り組んできたと思うが、課題や現状を示し、それに対してどう取り組んできたか。

**答** 農業者の高齢化や担い手不足により、農業者数は年々減少傾向にあり、さらに耕地面積の減少、農業資材や燃油等の高騰などが課題であると認識している。これまで新規就農者に対し、就農開始後の資金支援や、就農後必要な経費の補





道の駅四季の郷公園  
FOOD HUNTER PARK内  
「水の市場」



助をはじめ、農業用井戸の設置に係る費用補助や、遊休農地を借りて解消するために必要な費用への助成のほか、関係団体と農業振興策に取り組んできた。

**問** 輸入に頼らず地産地消を進めていくべきであり、学校給食にも積極的に地元農産物を使い、市民に安心安全な食材を提供すべきと考える。本市の現在の地産地消の取組はどうか。

**答** 令和4年4月に四季の郷公園をブランドオープンし、地元野菜などを販売しているほか、小学校給食に地元食材を取り入れてもらうなど、地元農産物の消費拡大に努めている。

**地産地消**

**日本維新の会**



しんこ ゆうこ  
新古 祐子

**和歌山県の活用**

**問** 城の活用及び収益方法の提案として、吉宗のコンプレをした芸員が城内を案内する、和歌山城らしいお土産や名物を目的に観光客が来るような食を企画する、天守閣の夜間活用として「お化け屋敷」にするなどしてはどうかと考える。

天守閣を起点に付加価値を上げ、ハードの充実よりもソフト面でのエンターテインメント性を上げることが大切だと思うがどうか。

**答** エンターテインメント性を上げるイベントや企画は、来場者の増加につながり、経済効果も期待できる。

天守閣の夜間活用など、速効性のあるソフト面の取組をより一層充実させ、本市のシンボルである和歌山城を最大限、効果的に活用できるように努めていく。



しが ひろあき  
志賀 弘明

**観光行政**

**問** 「市は観光ネタがたくさんあるのに、活用されていない」などと耳にする。DMOとして運営する市観光協会は、補助金がなくては運営できないのであれば、稼ぐための法人としては失格である。他地域連携を積極的に推進し、地域をまとめ上げることができる人材を登用すべきではないか。

市や市観光協会は、「観光都市和歌山市」の将来像をどう考えるか。

**答** 観光課では、観光の稼ぐ力の強化を政策の柱に、観光客受入れ体制の整備等に取り組むことで、観光客が増加、観光消費が増大し、新たな雇用創出など市内経済の活性化を目指す。市観光協会では、『都会にはない安らぎと歴史を、住民誰もが自慢し、訪れる癒しのまち』をコンセプトに、観光客誘致に取り組んでいる。

市や市観光協会は、「観光都市和歌山市」の将来像をどう考えるか。

**答** 観光課では、観光の稼ぐ力の強化を政策の柱に、観光客受入れ体制の整備等に取り組むことで、観光客が増加、観光消費が増大し、新たな雇用創出など市内経済の活性化を目指す。市観光協会では、『都会にはない安らぎと歴史を、住民誰もが自慢し、訪れる癒しのまち』をコンセプトに、観光客誘致に取り組んでいる。

**日本共産党議員団**



さかくち たみこ  
坂口 多美子

**ひとり親家庭への支援**

**問** 他の自治体から転入した家庭の児童扶養手当は審査が必要のため2、3か月支給されない期間が生じる。ひとり親家庭等医療費助成制度も伴うため、この期間、小学生以上の医療費の窓口負担が生じる。ひとり親家庭の実態や貧困率を見ても、切れ目のない支援をするべきだと思うがどうか。

**答** 審査の期間は適正な支給を確保するため必要であるが、小学生以上の窓口負担はゼロになるよう早急に検討を進めていきたいと考える。

**65歳以上の障害者に係る介護保険優先問題**

**問** 65歳になると障害福祉サービスから介護保険が優先され、サービス減少や1割負担となる。認定は画一的な基準でなく、必要な支援が受けられるよう支給決定を徹底すべきではないか。

**答** 適切なサービス提供に努める。

**学校施設改善の予算増額**

**問** 築40年以上が66%と老朽化しており、改善に向け予算を増額すべきでないか。

**答** 国の予算を活用し、整備を加速している。

**声の市議会だより**  
(市議会だよりの音声版)

市議会の活動をより一層知っていただくために、声の市議会だより(市議会だよりの音声版)を作成しています。

ご希望の方は、議会事務局 秘書広報課  
☎435-1120 までご連絡ください。



# 委員会審査の概要

## 総務委員会

当委員会に付託された議案5件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和5年度和歌山市一般会計補正予算(第4号)中、防災ラジオ貸与事業158万4千円について。これは、市からの防災情報を、屋内にいる方が迅速に受信できるように、一定条件を満たす方に防災ラジオを貸与する事業において、申込数が当初見込みを上回ったため、貸与台数を増やすことに伴い、増額するものです。



防災ラジオ

議案第3号、和歌山市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定

個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について。これは、令和5年6月9日に行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律が公布され、健康保険証が廃止されることとなったため、健康保険証の写しの提出等を求めている各種手続において、マイナンバーによる情報連携により医療保険給付関係情報を取得できるように所要の改正を行うものです。

議案18号、和歌山市人材育成基金条例の制定について。これは、地域再生法の規定による認定を受けた和歌山市まち・ひと・しごと創生推進計画に記載のまち・ひと・しごと創生寄附活用事業において、令和5年度から令和6年度までの2か年にわたり実施する人材育成事業に要する経費の財源として、和歌山市人材育成基金を設置するため、条例を制定するものです。

なお、審査過程において、事前復興計画におけるパブリックコメントの実施などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

### 録画中継



9月20日



9月22日

## 厚生委員会

当委員会に付託された議案1件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和5年度和歌山市一般会計補正予算(第4号)中、高齢者施設等安全対策強化事業152万5千円について。これは、高齢者施設の防災・減災対策を推進するため、安全上対策が必要なブロック塀の改修を行う施設に対して、補助するものです。



高齢者保健事業233万3千円について。これは、和歌山県後期高齢者医療広域連合から「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」事業を受託し、健康寿命の延伸を図るため、健康状態不明者等への支援と通いの場でのフレイル予防の取組を行うものです。

介護施設防災改修等支援事業3499万8千円について。これ

は、介護施設の防災・減災対策を推進するため、非常用電源の整備や耐震性のある受水槽への更新等を行う施設に対して、補助するものです。

結婚新生活支援事業3690万円について。これは、対象新婚世帯の要件を拡充し、経済的理由で結婚に踏み出せない方に結婚に伴う新生活を経済的に支援するため、増額するものです。



自然環境保護事業50万円について。これは、クビアカツヤカミキリの防除対策として、樹木の伐採等に係る経費を補助するものです。

なお、審査過程において、新型コロナウイルスワクチン接種、和歌山市の環境令和4年度報告(概要版)、太陽光発電事業の進捗について、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

### 録画中継



9月21日



9月25日





委員会の模様をインターネットで配信しています！

市議会ホームページから録画中継がご覧いただけます。

## 経済文教委員会

当委員会に付託された議案7件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和5年度和歌山市一般会計補正予算(第4号)中、観光誘客対策事業(日本遺産を活用したコンテンツ造成事業)499万9千円について。これは、文化庁が実施する「日本遺産を活用したコンテンツ事業」に『絶景の宝庫 和歌の浦』が採択されたことから、観光誘客に資するコンテンツを造成し、「和歌の浦ファムトリップ」等の新たな取組を行うものです。

放課後児童健全育成事業237万円について。これは、若竹学級の待機児童を解消するため、4月に低学年の待機児童が発生している学校について、待機児童受入れの体制を構築するため、事業費を増額するものです。

議案第2号、令和5年度和歌山市卸売市場事業特別会計補正予算(第2号)中、中央卸売市場施設整備事業2億7233万8千円について。これは、中学校給食センターの整備に向け、旧冷蔵庫棟や倉庫等の解体撤去及び雨水排水

管等の埋設工事を行うものです。

議案第7号、令和5年度和歌山市一般会計補正予算(第5号)中、観光誘客対策事業(TGC和歌山開催負担金)2500万円について。これは、回復しつつある観光需要を加速するとともに、本市の子供・若者に活気を与えるため、発信力のある東京ガールズコレクションの和歌山市開催に要する費用の一部を負担するものです。



令和5年2月本市開催の東京ガールズコレクション

なお、審査過程において、附属機関の会議の開催、第3次和歌山市教育振興基本計画の策定、和歌山市中学校給食、中学校制服の検討などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

録画中継



9月20日



9月22日

## 建設企業委員会

当委員会に付託された議案14件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和5年度和歌山市一般会計補正予算(第4号)中、和歌の浦魅力向上施設整備事業5076万1千円について。これは、和歌の浦魅力向上施設離れ棟の耐震改修外工事を行うものです。



現在の和歌の浦魅力向上施設

道路災害復旧事業1495万9千円について。これは、令和3年8月の豪雨により被災した道路施設の災害復旧事業について、工事中に周辺環境等に影響が生じたため、工法変更が必要となったことに伴い増額するものです。ま

た、同事業168万9千円について。これは、令和5年8月15日の台風7号により、倒壊した照明修繕や樹木の撤去など、被災した道路施設の復旧を行うものです。



台風7号により倒壊した樹木

議案第7号、令和5年度和歌山市一般会計補正予算(第5号)中、救急業務感染症対策事業144万8千円について。これは、救急業務に関わる職員の新型コロナウイルス感染症対策のため、感染防止ゴーグル及び消毒液等の衛生用品を購入するものです。

なお、審査過程において、119番映像通報システム(Live119)実証実験開始について、執行部から報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

録画中継



9月21日



9月25日



## 本会議場にモニターを設置しました!

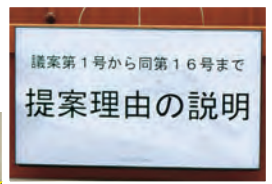
令和5年9月定例会から、議会の「見える化、伝わる化」の実現のため、会議の進捗状況や参考資料等をモニターに表示しています。傍聴に来られた方から、次のような声がありました。



- ・資料が図や表などで示されていて、とても分かりやすかった。
- ・これまで何度か傍聴に来たときに、資料がほしいと思っていたので、大変良かった。
- ・理解が進み、会議の一員にならせてもらった感覚になった。
- ・分かりやすいよう改善してくれていると感じた。



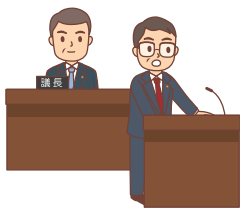
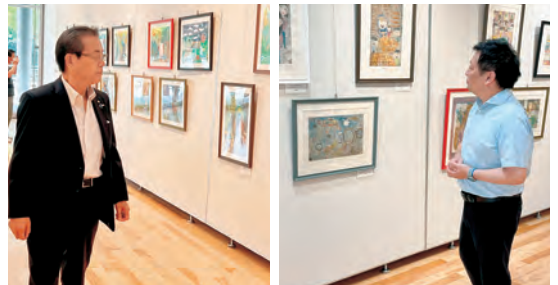
~新しく生まれ変わった議場にぜひお越しください!~



## 2023 和歌山市第2回日本台湾学校美術作品合同展

日台友好和歌山市議会議員連盟と日本台湾文化芸術交流会の主催、和歌山市議会の後援で、和歌山市と台湾の小学生が描いた水彩画などの作品展が8月に和歌山城ホール展示室で開催されました。

色彩豊かな作品が合同で展示されることで、芸術を通じた子供たちの文化交流が実現しました。日台友好和歌山市議会議員連盟では、今後とも台湾との友好交流に努めてまいります。



次の定例会は、  
12月です!



生中継・録画中継が  
ご覧いただけます。

市議会では、市民の生活に直結する福祉、教育、道路、防災など様々なことについて、審議しています。本会議や委員会は、どなたでも傍聴することができます。ぜひお気軽にお越しください。

## 広報委員会からのお知らせ



**全国から  
議会広報の視察に  
来てくれています!**

市議会公式フェイスブックページのフォロワー数中核市1位、中核市議会議長会議会報コンクールでの市議会だより3年連続受賞をはじめ、時代に沿ったPR動画の制作など、市民に伝わる議会広報を目指し、取り組んでいます。



**一人でも多くの  
方に届けたい!**

市議会だより発行ごとに駅前やスーパーなどで、広報委員が街頭配布を実施しています。

一人でも多くの方に読んでいただき、市議会をより身近に感じていただけるよう、市民の皆様からのご意見をお待ちしています。

### 和歌山市議会広報委員会

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| <b>【委員長】</b> 中谷 謙二 | <b>【副委員長】</b> 堀 良子 |
| <b>【委員】</b> 新古 祐子  | 山路 恭世 清末 博善        |
| 堀 登美子              | 辻本 太一 林元 光広        |
| 坂口 多美子             | 永野 裕久              |

〒640-8511  
和歌山市七番丁23番地  
和歌山市議会広報委員会 宛  
TEL : 432-0022 (議会事務局)  
FAX : 424-9276  
Mail : gikaidayori@city.wakayama.lg.jp



ご意見・ご感想は  
こちらから



和歌山市議会ホームページ    
<http://www.city.wakayama.wakayama.jp/gikai/>

地球環境保護のために、  
植物油インキを使用しています。

